

Free Style 8400

MODEL: 8432FS 設置方法

文書番号 TBJ-5034



DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

ご注意

- (1)本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ等お気づきの事がありましたら、ご連絡下さい。

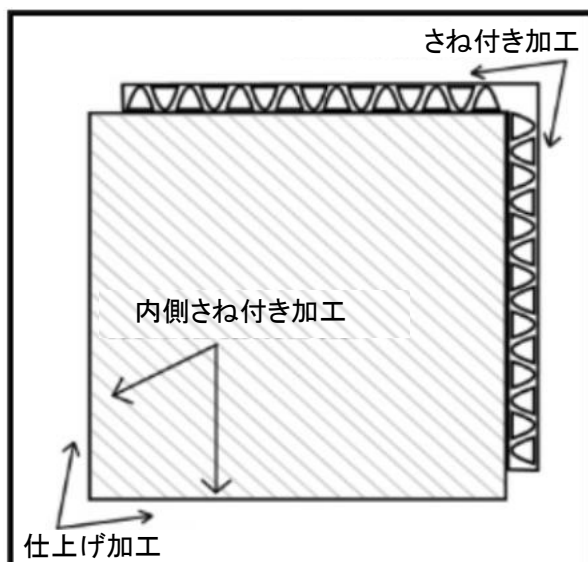
<Free Style のお受け取りと設置について>

箱を開けて製品をよくお確かめください。万が一製品が破損している場合は、設置しないでください。施行中に施工を危うくするような状態や欠陥があった場合、もしくは施工手順に影響がある場合は、直ちに中止し、[カスタマーセンター](#)に連絡してください。

本製品は、ESD TR1.0-01 および ANSI/ESD STM 3.1 に則り、ANSI/ESD S20.20 の常時モニター要件に準拠しています。ESD ハンドブックの ESD TR20.20 では「製造中の製品が常時信頼できる接地に関する知識を必要とする製品である場合は、常時モニターに関する知識を得て使用する必要があります。」推奨しています。

<Free Style の基本情報>

本製品は、470mm x 470mm のさね付き床材で、接着剤を使用する必要がありません。また、凹凸のある床面でも最小限の下準備で施工できます。コンクリート、木材、タイル等、様々な既存の床の上に直接施工することができ、またアクセスフロアにも設置可能です。カーペットや圧縮したり移動したりするような床の上への設置はお勧めできません。



さね付き接続は、タイルの上部から見える2箇所の「さね付き加工」と側面に隠れている「内側さね付き加工」を使用します。施工は、1枚のタイルのさね付き加工部と隣接するタイルの内側さね付き加工部を嵌合させます。

警告: 既存の弾力性のある床材を取り外す場合は、適切な注意と手順で行う必要があります。古いビニールシート、フロアタイル、アスファルトの床材の多くは、容易に識別できないアスベストを含んでいます。これらの物質の除去は、アスベストの除去に関する様々な国、都道府県、地域の規制を遵守する必要があります。アスベストを含んでいないことが確認できない限り、これらの床材を研磨、乾式掃除、乾式削り取り、ドリル、ノコギリ、ビーズブラスト、粉碎等しないでください。

<タイルの平坦性>

本製品は、特許取得済みの「さね付き」システムを採用しており、接着剤を使用せずに施行できるよう設計されています。リサイクル素材を使用した、柔軟で体質性のある下地を使用し、しっかりとした継ぎ目を実現します。この設計により、タイルの端にわずかな凹みが生じますが、これは正常な状態です。また、箱から取り出した時や最初の施工時に多少の凹みが発生することがあります。これは、施行後、時間の経過とともに床が定着し、減少していきます。

<Free Style の受取りと保管について>

施行前にタイルを平らにし、適切な条件下で調整・保管してください。絶対にタイルを立てて保管しないでください。タイルの箱(またはタイル自体)を平らな面に積み重ね、箱の端が互いに同じ高さになるようにします。未調整のタイル、不適切な保管、端のはみ出しは、タイルの形や大きさが歪み、施工時に支障をきたす可能性があります。タイルは調整すると最大 1.6mm まで変化することがあります。調整済みのタイルをこの説明書に従って施行すれば、これらのばらつきが施行に悪影響を与えることはありません。室温とタイルの表面温度を管理できないと、サイズのばらつきがより大きくなる可能性があります。

<使用工具>

- ・ 金物店で購入できるデッドブローハンマー(0.7~1.3kg)
注:ゴム槌は使用できません。
- ・ カッターナイフ、定規、大工用角材
- ・ チョークライン
- ・ メジャー
- ・ カーペット用両面テープ - Johnsonite Power Tape または同等品
(46.5 m²以上の作業で必要)
- ・ テーブルソーまたは丸ノコ(複数の直線的な切断を行う際に使用)
安全装置が付いているものを使用してください。電動装置を使用する際は、常に製造元の指示と安全上の注意を遵守してください。
- ・ シャープペンまたはマーカー(切断の際にマークするために使用)
- ・ 6.35mm スペース
- ・ ジグソー、オービタルサンダーなどの切削工具(不規則なカットのために使用)
必要に応じて、仕上げ用ブレード(中歯)をご使用ください。
- ・ 50.8cm 以上のタイルカッター(オプション)
大規模な作業でのコスト効率を上げます。推奨ブランドは、Bullet RCT 20 Magnum Shears です。

<準備>

施行前に 48 時間以上、室内、床下、タイルの温度を 18～29℃に保ちます。極端な気象条件(-15℃以下、35℃以上)で出荷されたタイルは、最低 72 時間の調整時間が必要です。

- ・ すべてのゴミを取り除く。必要に応じて掃き掃除や掃除機をかけてください。
- ・ 古い接着剤をこすり落とす。表面が完璧である必要はありませんが、接着剤の大きな塊(2.7cm 以上)は除去してください。
- ・ モールディングやコーブベースを除去します。その後、古いモールディングやコーブベース、もしくは新しいものを床の上に再構築します。
- ・ 表面の大きな欠陥(0.95cm 以上のひび割れ)、高低差が急な箇所、床下の空洞を修復します。
- ・ 必要であれば、ドア枠にアンダーカットを施し、タイルが下地にフィットするようにします。

<タイルの向き>

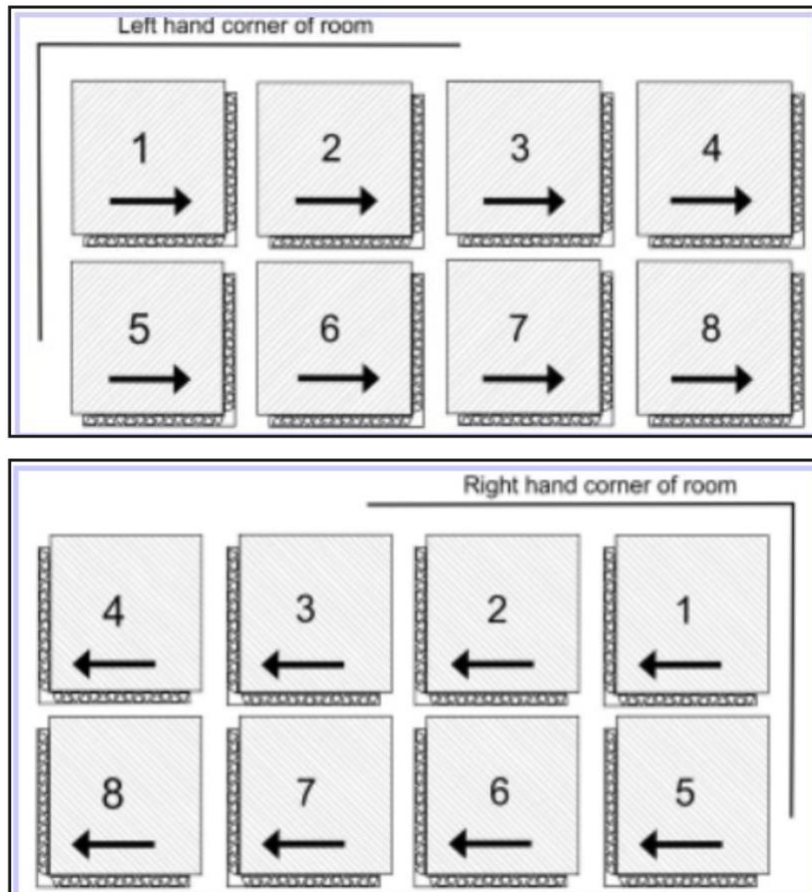
本製品は、タイルをすべて同じ方向に設置し、端と角が一直線になるようにする必要があります。方向を間違えて施行すると、タイルが破損します。

<さね付き床材>

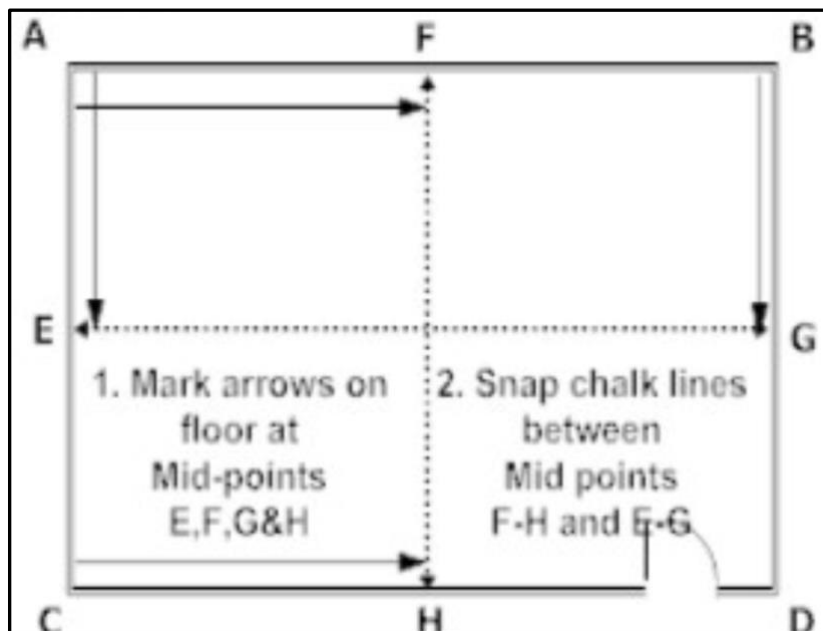
設置する前に、隣接するタイルとの位置関係が正しいか、さね付き加工部分や床面にゴミがないか確認します。各タイルの角とサネ付き加工部分の位置を合わせ、噛み合わせます。隣のタイルにしっかりと嵌るのを確認できるまで、手根部でタイルを押し下げ嵌め込みます。さね付き加工部分沿って作業し、完全に嵌まるまでデッドブローハンマーでしっかりと叩いてください。タイルがうまく噛み合わない場合は、一度タイルを外してタイルの向きと配置を確認し、手根部で押しながら嵌め込み、接合部を叩いてください。タイルの位置がずれた状態で叩き続けるとさね付き加工部にダメージを与えます。

<タイルのレイアウト計画>

他のタイル製品と同様に、レイアウト計画はまず部屋やエリアの中心を探し、レイアウトのガイドラインを設置するところから始めます。陶器やビニール製のタイル製品とは異なり、FreeStyle の施行は部屋の隅から始める必要があります。仕上げ加工面を壁側に向けます。以下の手順で、コントロールラインと施工の開始点を決めることで、壁面に沿ったバランスの取れたカット列を作ることができます。どのコーナーがスタート地点になるかを決定し、最も長い直線の壁に沿って作業を開始します。出入り口のあるコーナーからスタートしないでください。最初の一行を慎重に直線にしないと、特に広い面積の施行を行う場合は、設置が困難になります。

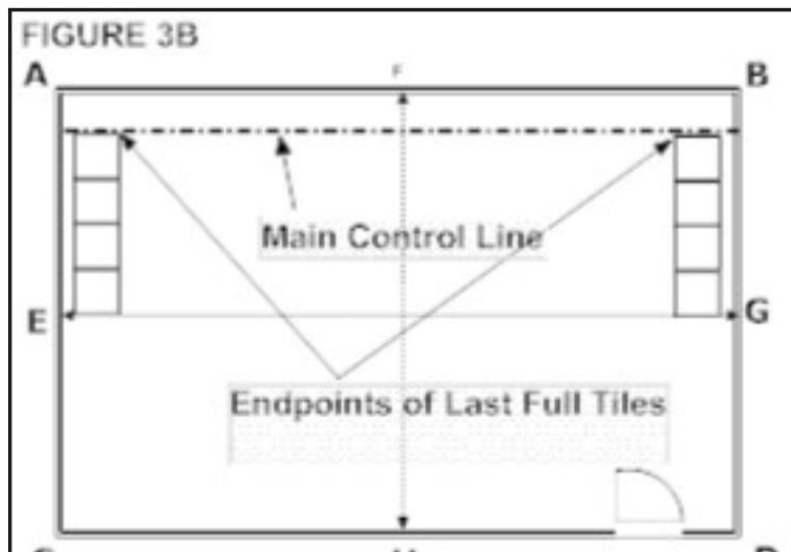


<部屋の中心線と中間点を設定>

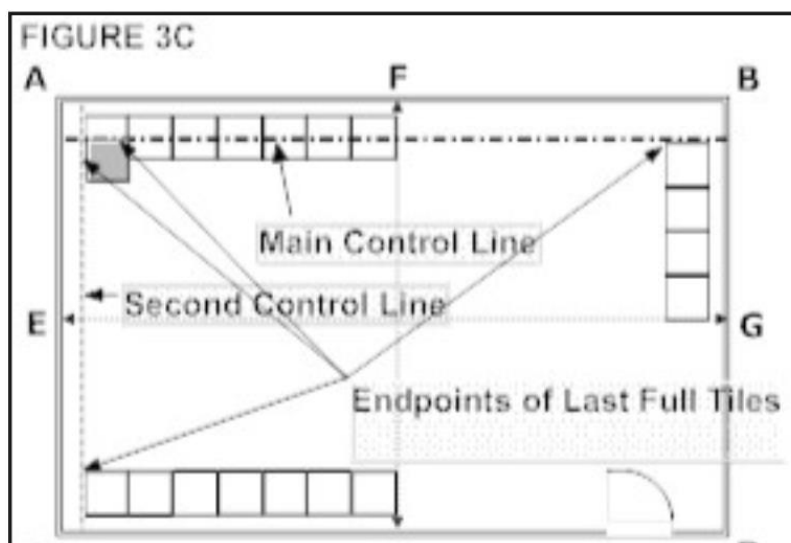


- ・ 点 A から点 B まで測定し、その測定値を 2 で割り、壁面 AB の中間地点(点 F)を矢印でマークします。
- ・ 壁面 CD.AC.BD に沿って同様に中間地点(点 H.E.G)をマークします。
- ・ 点 F と点 H、点 E と点 G を結び、チョークでラインを引きます。

<コントロールラインとスタート地点の設定>



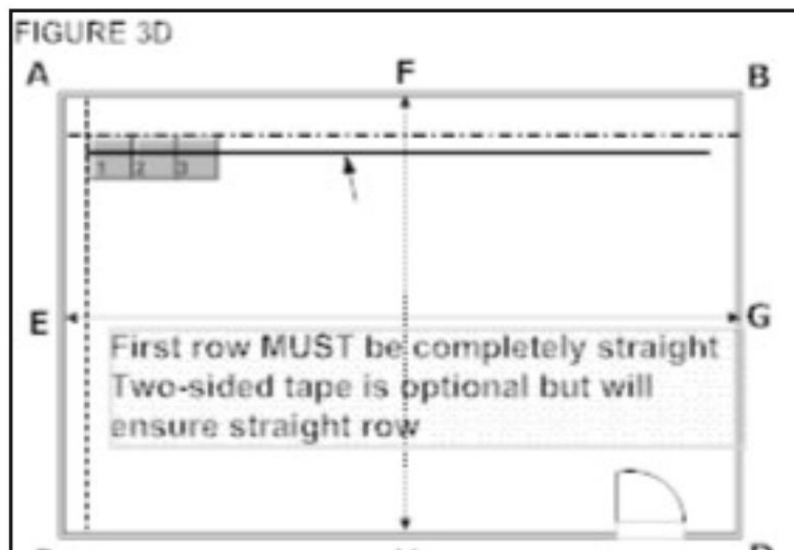
- ・ 壁面 AC に沿って中間線 EG からタイルを AB に向かって敷き詰め、最後のタイルの仕上げ加工のラインを注意深くマークします。
注意: さね付き加工部ではなく、仕上げ加工部に沿ってマークすることが重要です。
- ・ 反対側の壁面 BD に沿って同様に繰り返し、マークします。この 2 点を結び、チョークでラインを引きます。これがメインコントロールラインです。



- ・ 他の壁面でも同じ作業を繰り返し、タイルの枚数を決定します。このチョークラインがセカンドコントロールラインとなります。
- ・ メインコントロールラインとセカンドコントロールラインが交わる角が設置のスタート地点となります。

<コントロールローの設置>

最初の列は、コントロールライン上で真っ直ぐに設置することが重要です。そうすることで、全体が長方形に保たれ、設置が容易になります。この作業を怠ると、列を追加する度に隙間ができたり、継ぎ目がきつくなったりすることがあります。50 m²以下の小規模な施工では必要ありませんが、100 m²を超える施工では、3 列目に両面テープを使用し、列が真っ直ぐになるようにしてから 2 列目を設置してください。



- ・ テープを使用する場合は、1 列目のタイルを設置する部分の下の床を掃除機で吸ったり、ほうきや湿らせたモップ等で埃を取り除き、乾燥させます。こうすることで、テープが床に密着します。
- ・ コントロールラインに沿って慎重に 1 列目のタイルを並べ、2 列目も配置します。2 列目の端から 12.7cm のところに、3 列目の最初のタイルを貼る位置から両面テープを並行に貼り、テープをしっかり押さえます。
- ・ スタート地点から両面テープの保護紙を 180cm ほど剥がします。
- ・ 3 列目を開始する前に 1 列目を細かくチェックし、コントロールライン上に保持できるよう、必要に応じて調整します。3 列目のタイルを仮置きし、仕上がり加工部がメインコントロールラインとセカンドコントロールラインに並行になるよう注意深く合わせます。必要に応じて調整できるように、まだ圧力をかけないでください。
- ・ 2 枚目、3 枚目も同様に、メインコントロールラインとの位置関係を注意深く確認します。さね付き加工部分をしっかりと噛み合わせて位置関係を確認しますが、必要に応じて最終調整を行えるように、テープが床に貼ってある部分には圧力をかけないでください。
- ・ タイルとさね付き部分が正しく配置されていることを確認したら、1 枚目のタイルの上に膝をつき、テープで固定された部分の上を押してタイルを固定します。2 枚目、3 枚目も同様に押し込んでから、デッドブローハンマーでさね付き部分を完全に固定します。
- ・ この作業を繰り返し、コントロールラインに注意しながら一度に 3~4 枚のタイルを敷き詰め、その列が完成するまで行います。
- ・ テープで固定された列が完成したら、スタート地点に戻り、次の列のタイルを設置し、全体にタイルが設置されるまで続けます。

コントロールラインを設定した後、コントロールラインから壁までの距離が 15cm 以下であれば、壁に最も近いタイルから始めます。この場合、または単純にカットの少ないシンプルな設置を好む場合は、上記の全ての手順を実行します。2 本のコントロールラインを設定しますが、そのうちどちらか、または両方が壁の近くにある可能性があります。この場合、最後のタイルの端を示す各ポイントから壁までの距離を測定します。壁と並行にチョークラインを引きます。これがスタートラインです。

<カットエッジタイルの測定と配置>



- ・ タイルからさね付き加工部を取り除いて、エンドカットテンプレートを作成します。
- ・ コーナーから始めて、すでに設置されたコーナータイルの上にタイルを置き、端をしっかりと合わせます。すでに設置されているさね付きタイルと方向が合っているか確認してください。
- ・ エンドカットテンプレートを、カットするタイルの上に置きます。テンプレートを壁に押し当て、コーナー付近に 6.35mm スペース (7.94mm のスペースを確保するために、タイルの切れ端を使用しても構いません) を置きます。端をしっかりと合わせ、テンプレートの端に合わせてカットするタイルに線を引きます(上写真参照)。
- ・ 引いた線に沿ってタイルをカットします。
- ・ 必要であれば、すでに設置済みのタイルの端を軽く持ち上げ、カットしたタイルのさね付き加工部分を滑り込ませ、角を合わせます。タイルの角は手のひらで押さえ、デッドブローハンマーで仕上げます。最小限の伸縮スペースが確保されているか確認します。
- ・ この方法を設置エリアの周囲全体に行い、全てのタイルを設置します。
- ・ 最高の仕上がりにするためには、ドアの棧をカットし、タイルがその下に収まるようにする必要があります。これは、大抵の金属製品店で入手可能な「ドアジャンプ」または「アンダーカット」ノコギリを使用して、簡単に行うことができます。適切な切断高さを設定するために、タイルを使用して棧を切断します。
注意: 場合によっては、隙間が不十分なためドアの下部もカットする必要があります。ドアの開閉時にタイルのどこかが擦れることのないようお気をつけください。

<シームの沈下>

タイトシーム設計のため、施行中にタイルが飛び出すことがあります。さね付き加工部の目地は、ローラーで転がしながら目地に圧をかけるときれいに仕上がります。この作業は、施行数日後に床が落ち着いてから再度行ってください。また、床面をもう一度確認し、高い位置にはデッドブローハンマーで打ち直します。

<トランジション>

床下や隣接する床材に移行する場合は、トランジションピースを設置します。

<転動荷重>

大きな転動荷重がかかると、タイルが圧縮されてクリープし、通行部分、ターンポイント、ピボットポイントで外れてしまうことがあります。これを防ぐために、このような部分にのみ、剥離可能な接着剤(パラボンド M5080 または同等品)を塗布してください。接着剤メーカーの説明書に従って施工してください。

<温度条件>

タイルを設置する場所が 16～24℃の温度範囲に保たれていない場合、タイルは標準的な設置よりも膨張・収縮します。温度の低い環境に設置する場合は、タイルの膨張スペースを多めに確保してください。座屈の原因となります。温度の高い環境では、タイルの収縮を考慮してください。壁面や仕切り部分に隙間ができる可能性があります。20℃以上の温度差が生じる場合は、拡張ジョイントを使用してください。

<接地>

設置場所全体で 93 m²ごとに銅製のアース線を設置することをお勧めします。アース線は、タイルの表面からコンセントまたは他の建物の接地までたどってください。接地用キットは 46270 FreeStyle 8400TM さね付き床システム 接地システムから注文することができます。

限定保証

弊社の保証規定に関する詳細は

<http://www.descoasia.co.jp/Limited-Warranty.aspx>

をご覧ください。

保証規定

本製品は、米国 DESCO Industries Inc. 社により製造され、日本国内の販売、保守、サービスは、DESCO JAPAN 株式会社が担当するものです。

本製品が万一故障した場合は、製品購入後一年以内については無料で修理調整を行います。ただし、以下の項目に該当する場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。

- (1) 取扱説明書以外の誤操作、悪用、不注意によって生じた故障。
- (2) 当社以外で行われた修理、改造等による故障。
- (3) 火災、天災、地変等による故障。
- (4) 使用環境、メンテナンスの不備による故障。

保証の対象となるのは、本体で付属品、部品等の消耗は、保証の対象とはなりません。

- * 本保証は、上記保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- * 本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

機器に明らかなる不良がある場合については、下記内容を当社にご連絡下さい。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1) 機種名または、品番 | 4) ご購入年月日 |
| 2) 製品シリアルナンバー | 5) 御社名、部署名、担当者名 |
| 3) 不良内容(できるだけ具体的に) | 6) 連絡先 |

以上の内容を検討致し返却取扱ナンバーを御社に連絡致します。製品を返却する場合は、返却取扱ナンバーを製品に添付してご返却下さい。

返却ナンバーが表示されていない場合は、保証の対象とならない場合があります。

DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

〒289-1143

千葉県八街市八街い 193-12

Tel: 043-309-4470

<http://www.descoasia.co.jp/>